

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 2 年 11 月 10 日



豊中ロータリークラブ

第 2901 回例会
第 2484 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2020～21 年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク
(ロータリーは機会の扉を開く)

Rotary



2020.7～2021.6
会 長 岩本洋子
副 会 長 小川佳伸
幹 事 宮田幹二
雑誌・広報・会報委員長
吉川秀樹

本日 (11 月 10 日) のプログラム

次回 (11 月 24 日) のプログラム



「ロータリー財団
月間に因んで」

「詐欺に遭わないために」

ロータリー財団委員長

卓話担当：福盛 康友

松山 辰男

★会長の時間★

「簡ガバナーの思い ～世界で働く日本人の育成～」

2020-21 年度 会長 岩本洋子

10 月 27 日の簡ガバナー公式訪問と懇談会、ご苦労様でございました。

10 月 27 日の公式訪問日は出席者が多く、テーブルも食事も足りなかったぐらいで、簡ガバナーが「今日、出席数はどうですか？」と聞かれたのに対して、「多すぎて座るところがないです。お弁当も足りなくなりました。」と答えることができました。

簡さんは私が前の大阪そねざきロータリークラブで 10 周年の会長をしていた 2003～2004 年、茨木ロータリークラブの会長で「同期の会長」という古いお知り合いです。

懇談会で簡さんは私とよく似た考え方を話しされました。ロータリーが今は人道支援に力を注いでいるけれど、それは RI の方針であって、本当は日本のロータリークラブが日本人の青少年の育成にもっと力を注ぐべきである、できれば世界で働くことのできる日本人の若者を育成することに力を注ぐべきである、という考え方でした。「米山奨学生のような日本人の若者」がたくさんいたらいいな、という考えです。外資企業に買収されたら退職者がいっぱい出るような日本の企業でなく、日本でも海外でも働ける若者を育成すべきであるという考え方でした。

今、RI は人道支援、目の前の困っている人の支援に傾いていますが、日本のロータリーは別の行動もあると思います。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2900回	第2897回
例会日	10月27日	9月29日
① 会員数 A	38	38
(内出席免除者)	7	7
② 出席義務者数	31	31
③ 出席義務者出席数	24	24
④ 出席免除者出席数	5	6
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	7	7
出席率 %	80.56%	83.78%

出席率 (2900回) = ③+④/②+④ 出席率 (2897回) = ③+④+⑤/②+④

幹事報告

- ・〈公財〉国際連合 麻薬・覚せい剤乱用防止センターより「ダメ。ゼッタイ。募金のお願い」が届きました。
- ・国際ロータリー第2660地区より「ガバナー月信11月号」が届きました。「ロータリーの友11月号の推奨記事」が届きました。
- ・国際ロータリー日本事務局より11月のロータリーレートは1ドル=104円です。
- ・〈公財〉大阪交通災害遺族会より「パンジーだより」が届きました。

掲示板

第5回定例理事会

日時:11月10日(火) 本日例会終了後
場所:ホテルアイボリー 例会場前

※11月17日は休会です。

職場見学と秋の家族会

日時:11月19日(木)
集合13:45 出発14:00
集合:ホテルアイボリー
訪問先:佐川美術館

地区大会

日時:12月12日(土)
会長・幹事会 12:30~13:45
本会議 13:30~17:30
場所:グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

年末家族会

日時:12月19日(土)
場所:ホテル阪急レスパイア大阪
大阪府大阪市北区大深町1-1 電話:06-6372-8006
“ヨドバシカメラ梅田”隣のホテルです。

新年互例会

日時:2021年1月9日(土)
17:30受付 18:00~例会 18:30~新年互例会
場所:ベルクラシック空港
池田市空港1-12-8 TEL:06-6857-1200

☆11月受付当番☆

チーフ:米田 眞会員
11月10日 原 和永会員、南原 淳会員
11月24日 米田 眞会員、眞下 節会員

11月のお祝い

皆出席

村司会員 20年 北村会員 16年

会員誕生日

森本 博明 会員 S. 35. 11. 3
谷野 桂子 会員 S. 14. 11. 2
狩野 裕 会員 S. 33. 11. 11

ご夫人誕生日

田中 正一 会員 清 子夫人 11. 28
矢野 昭 会員 衣 代夫人 11. 24
志水 清紀 会員 友基子夫人 11. 30

ご結婚記念日

豊島 了雄 会員 S. 56. 11. 10
松尾 宗好 会員 S. 47. 11. 24

10月27日のゲストとビジター

- ・国際ロータリー第2660地区
ガバナー 簡 仁一 様 (茨木 RC)
- ・国際ロータリー第2660地区
幹事 加藤 眞一 様 (茨木 RC)
- ・国際ロータリー第2660地区
幹事 山本 高司 様 (茨木西 RC)
- ・Li Jiyao さん 豊中 RC 奨学生

ガバナー公式訪問



簡ガバナー、よろしくお願ひ致します。
豊中 RC 会長 岩本洋子

10月27日のニコニコ箱報告

- ・地区大会宜しくお願ひ致します。
地区幹事 加藤 眞一 様
地区幹事 山本 高司 様
- ・簡ガバナーをお迎えして 岩本、宮田各会員
- ・創業90年を迎えることができました。
福盛会員
武枝会員
- ・米山功労賞を頂きました。

◎副幹事・副SAA当番◎

11月副幹事 谷野 桂子 会員
11月副SAA 横田 広司 会員

2020-2021 年度ガバナー公式訪問

国際ロータリー第 2660 地区

ガバナー 簡 仁一 様



ホルガー・クナーク RI 会長テーマ

「Rotary Opens Opportunities」～ロータリーは機会の扉を開く～

クナーク会長は、このテーマについて、ロータリーがクラブに入会するというだけではなく、「無限の機会への招待である」という思いを込めた、と語っておられます。

「奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである」と力説され、「ロータリーは、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる」とも述べられました。

そのうえで、「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」と強調されました。

この RI 会長のテーマに基づき、2020-21 年度第 2660 地区の年次目標を 6 項目掲げました。

1. 会員基盤の強化

年代、職業、男女の別、いずれにおいても、多様な会員を受け入れる柔軟性と、ロータリーの基本的な価値観を再認識し、クラブのあり方を方向づける「クラブビジョン」を作成しましょう。問題意識を共有し、会員の退会を防ぐ姿勢を、だれもが持ち続ける必要があります。

2. ポリオの根絶

現在、ポリオウイルス株の 2 型、3 型は根絶され、あとは 1 型だけです。日本時間 8 月 26 日に、WHO が、アフリカでポリオが根絶されたと宣言しました。これにより、ポリオの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの 2 か国だけとなりました。ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶこととなります。世界中で根絶されるまで活動を続けていきましょう。

3. 青少年の活動を支援

未来を担う若い世代を支援し、リーダーを育てることは、ロータリアンの使命です。当地区は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、米山奨学生、ロータリー学友などの青少年プログラムに積極的に取り組んでいます。ロータリアンと青少年がともに活動できる奉仕の機会を、さらに作っていきましょう。

4. ロータリー財団活動の推進

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕プロジェクトを支える柱です。年次基金は、3 年後の奉仕活動の資源となり、恒久基金は将来のロータリー活動を担保し、ポリオ基金はウイルスとの闘いの象徴です。ご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

5. 米山記念奨学会活動の推進

日本と海外との懸け橋となる米山奨学生の支援をお願いします。4 月から継続を含めて、49 名の米山奨学生が、皆さんのクラブでお世話になっております。未来を担う若い力を応援してください。

6. IT 化の推進と公共イメージの向上

IT 化は避けては通れません。My Rotary の登録、クラブセントラルの活用をぜひ、よろしくお願いいたします。ロータリーについて知ってもらうための一番の広告塔は、ロータリアン自身です。会員以外の人にも、ロータリーに親しんでもらう機会をつくっていきましょう。

私は、地区スローガンを決定するにあたって、3つのことを考えました。

① 基本の再認識を

ロータリーは変わったのか、という声をよく耳にしますが、私はそうは思いません。2019年-20年度の新しい標準ロータリークラブ定款は、表現が多少異なっているとはいえ、基本となる考え方は従来と同じです。それは、すなわち、四つのテスト、超我の奉仕、中核的価値観といったロータリーの価値観です。

そして、ロータリーは、こうした価値観を共有する人たちの集まりであり、だからこそ、確かな信頼関係が築かれているのです。今こそ、ロータリーの基本を再認識しましょう。

② 誇りと自信を持って

ロータリーで、私は、多くの尊敬できる先輩の皆さん、多くの信頼できる友人を得ることができました。一人ではなかなかできない奉仕活動に取り組むことができ、その活動を通して、大きな感動を得ることもできました。

こうした素晴らしい集まりの会員であることに改めて意識を向け、ロータリアンとしての誇りと自信を、皆さんに持っていただきたいと思います。

③ 未来をつくる

時代に対応する多様性、柔軟性、適応力がなければ、ロータリーの未来を創っていくことはできません。例えば、SF映画のように、過去に戻って、今を変えることはできないのです。

しかし、未来は、私たちの手の中にあります。私たちが、未来をつくっていくことができるのです。

ロータリーの**基本**を再認識してください。

ロータリアンとしての**誇りと自信**を持ってください。

そして、一緒にロータリーの**未来**をつくっていきましょう。

そこで、地区スローガンは

「**Back to the Basics and Fly to the Future**」

(ロータリーの基本に戻って、新しい未来へ)

の意味を込めて

BACK, To the FUTURE
~基本に戻って、未来へ



とさせていただきます。

これから一年間、クラブの皆さまとともに、基本を見つめ直して考え、歩んでまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。